

■作品しめきり日

二〇二〇年一〇月三十一日(当日消印有効)

■賞品

各部門ごとに部落解放文学賞受賞作と佳作をおく

部落解放文学賞受賞作には賞金二〇万円と選者サイン入り本

佳作には選者サイン入り本と副賞

■発表・掲載

解放新聞に入選発表

『部落解放』増刊号(文学賞特集号)に部落解放文学賞受賞作など掲載

■送り先

〒五五二-〇〇〇一 大阪市港区波除四-1-37 HRCビル三階

部落解放文学賞実行委員会あて

■問い合わせ先

部落解放文学賞実行委員会

電話 〇六一六五八一―八七二〇

第47回

部落解放文学賞

応募要項

■主催■

部落解放文学賞実行委員会

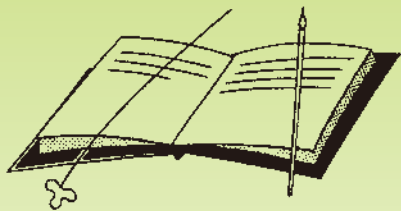
部落解放同盟中央本部／(一社)部落解放・人権研究所／解放新聞社／解放出版社

■後援■

大阪文学学校／全国人権保育連絡会

(公社)全国人権教育研究協議会／全国隣保館連絡協議会

『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議／部落解放中央共闘会議



この文学賞が、ほかにはない重要な特徴をもっているのは、創設以来、反差別と人権の拡大をめざし、ひとびとに生きる勇氣と希望をあたえる作品が選ばれてきたことにある。たとえば、貧困によって学ぶ機会を奪われていたひとたちの、文字を獲得しようとする必死の営みは、ぎりぎりのところから発せられた生をもとめる記録を産みだし、ひとびととの連帯をもとめて血と涙とともに書きつがれてきた。長い年月のなかで部落解放運動のなかから生まれた、おおくの作品を紡ぎ出したのは、この文学賞の大きな成果である。残念ながら、この国の政治と経済と文化は、ますます競争と少数派の排除と差別と分断をつよめ、わたしたちがめざす、人間の熱と光にむかい、相互扶助と平和とをもとめる方向に逆行している。だからこそ、わたしたちは、自分自身と社会とを革新し、おのれの精神を解放していく文化活動をさらに必要としている。人間の解放にむかうすぐれた作品の誕生を待望している。

代表 鎌田 慧

■ 応募規定

応募資格——いっさい問いません（集団やグループによる共同制作も可）。

作品は、原稿用紙で応募していただくか、パソコンなどで入力される場合は、一枚千字程度でお願いします。

一枚目に、応募部門・題名・名前・住所・生年月日・電話番号・ファックス番号、メールを使用されている方はメールアドレスを書き、名前には、かならずフリガナをつけてください。

応募は未発表の作品のみ受け付けます。ただし、この一年間に同人誌、サークル誌、各地の部落史研究所・研究会の紀要に発表した作品も可能です。書店の販売ルートにのった単行本などは受け付けません。昨年度までに応募された方で、その作品を書き直して応募されることも期待します。応募原稿はお返ししませんので、応募原稿が必要な方は、コピーを取っておいてください。また、規定枚数を超える作品につきましては受け付けません。

この賞は、年間を通じて募集し、毎年一回選考をおこないます。なお、作品のしめきり日は一〇月三一日（当日消印有効）です。

部落解放文学賞受賞作品などの出版権は、部落解放文学賞実行委員会にあるものとします。

■ 部門

識字部門

識字活動をはじめ、読み書きを学んでいる人の作品。

記録・表現部門

ノンフィクション、ルポルタージュ、生活史、自伝史。部落、民族、女性、障害者をはじめとするあらゆる差別に関するエッセイ、聞き書きなど。

小説部門

四〇〇字詰原稿用紙一五〇枚以内。

詩部門

一人三篇以内。

児童文学部門

児童文学、絵本、創作民話、ファンタジー、時代物、リアリズム、昔話、童話など。

四〇〇字詰原稿用紙一五〇枚前後。

戯曲部門

「舞台での上演」を想定したもので、人間や社会のありようを描き、部落差別をはじめ、あらゆる差別や人権について考えられた作品。すでに上演された作品の応募も可。

四〇〇字詰原稿用紙一五〇枚以内。

評論部門

差別の諸問題を中心に、人間—自然の諸関係をかえ、新たな時代を創造するための評論・論文。四〇〇字詰原稿用紙五〇枚前後。

選考委員

識字部門、記録・表現部門

鎌野 田村 (ルポライター) 慧進 (ノンフィクションライター)

小説部門

黒古 伯 (文芸評論家) 夫妻 (作家)

詩部門

金時 (詩人) 鐘

児童文学部門

山下 瀬 (児童文学作家) 明成 (児童文学作家)

戯曲部門

芳地 隆 (劇作家) 介仁 (演出家)

評論部門

岡真和 (京都大学大学院教授) 理之 (大阪文学学校校長/詩人)